

# 授業づくりの工夫（学習シート編①）

授業の中でノートとともに使用されている学習シート。「児童生徒がねらいを達成するためには？」「児童生徒が主体的に学習するためには？」「児童生徒が自力解決できるようにするためには？」など様々なねらいをもって工夫されています。しかし、どのように作ったらいいのか悩まれている先生方も多いようです。そこで、北部支所管内の小中学校の先生方が工夫されている学習シートをご紹介します。是非、参考にされてみてください。

## ★今回紹介するシート

- ① 学習の進め方を確認するシート
- ② 学習計画表、身に付いた力を確認するシート
- ③ 1時間のめあてを達成するために、「書き込む」などの作業を行うシート
- ④ 学習に必要な資料をまとめたシート

### ① 学習の進め方を確認するシート

巖木小の実践から

**Good!**

学習シート

1時間の学習過程をまとめたシート。「過程」「活動」「話し方と例」を1枚にまとめたものです。低学年・中学年・高学年用がそれぞれあり、系統性を考えて作成されています。

このカードで学習の流れや方法、表現等を確認することができ、児童生徒にとっては、学習の中で困ったときの助けになります。

また、先生方も授業の流れを共通理解して実践していくことができます。

過程	活動	話し方と例
課題をつかむ つかむ わかる・共通する	☆課題をつかむ 問題の条件の整理 問われていること 解決への見通し 習った知識・公式 答えの予想 様々な解決方法	【課題をつかむ段階での話し合い】 「わかっていること(条件)は～、求めることは～です。」 「前に勉強した～と知っているもので、その方が使えます。」 「～の公式を使って解くことができそうです。」 「答えは～になると思います。」 「小数を10倍して整数で考えると～だから、～」 「～(グラフ、表)を書いて考えたいと思います。」 【自分の考えをわかって説明しよう】
一人で解く びつかりタイム	☆自力解決 問題を解くために活用する 図、グラフ、表、式、算盤、具体 数直線・棒グラフ、線分図・折れ線グラフ、面積図・円グラフ、合同 点・角、ブロック、点・ふせん紙、短冊 説明を書く ①使った知識・公式 ②条件 ③適用 ④結果 を文で書く。	①使った知識・公式・解き方 使った公式(解き方)は、～です。 ②条件 問題文の数値や図形の性質など～なので、～ ③適用 式は～となりませう。 ④結果 だから、答えは～となります。 【先生へ相談する時は】 「私は、～と考えました。～が分からないのでアドバイスをください。」(自分の考えを待つこと)
グループで考える あいあいうタイム	☆グループで話し合う。 話し合う前の整理: 目的、役割分担、時間 具体物を使って(ふせん紙、短冊、ホワイトボード) ①質問 ②付け加え ③仲間分け ④関係 ⑤きまり ⑥言いかえ ⑦結果 グループでの話し合いを受けて、グループの意見をまとめる(協議: 一つの結論か、討議: 複数の考えかにまとめる)	目的の欄を記して、自分の役割をしっかり果たす「まず～、次に～、最後に～。」 「私は、～(知識、公式、解き方)を使って考えました。」 ①「なぜそれなのですか。」 ②「～さんの考えは～のところに付け加えます。」 ③「私は、ちがう考えです。理由は、～。」 ④「□と△の関係は～、□が～すると△が～になります。」 ⑤「見つけたあたりは～です。」「きまりは～です。」 ⑥「□と△の関係は、言いかえると～ということです。」 ⑦「～だから～と考えました。だから答えは～です。」 おとしたものグループは③つの考えができました。 「～さんの考えは～のところがわかりやすいです。」
みんなで考える	☆全体で話し合う。 話し合いの視点 正しいか 考えのよさ 関係・きまり 「やい」「んたん」「いいかく」「やい」「かりやすい」「(3)つでも使える」 ①全体での話し合いを受けて、自分の考えをよりよくなる。付け加え・修正	【正しいかどうか話し合う】 「正しいと思います。」「問題文にあります。」 「たしかめ算をしても同じ答えになりました。」 【関係やきまりで解き方の仲間分けをする】 「Aの考えとBの考えは、きまりが同じだから。」 「Cの考えとDの考えは、～のところが違うから。」 【よさへの気づき】 「Aは2つの式で計算していますが、Bは1つの式で計算しているので早くできます。」 「( )でまとめる、計算が簡単になります。」 「( )でまとめる、計算が簡単になります。」 「計算の順序を工夫すると正確にできます。」 「図形の三角形ABCの部分を移動して長方形にする方がはやくできます。」 「この解き方は私も～でも使いました。この方法が～つでも使えて便利です。」
ふりかえる	☆学習をふりかえる。 ふり回りの視点 わかったこと さらに考えてみたいこと 自分や友達によさ ・練習問題を解く ・感想を書く	【今日の学習をふりかえる】 「今日、わかったことは～です。」 「今日わかった解き方は速く簡単にできます。これから使ってみよう。」 「～さんの考え方が速く正確にできて便利だと思いました。」 「～さんの線分図がわかりやすかったです。これからは線分図のかきかたを工夫します。」 「今日わかった図形の特徴を使って、もっときれいな模様を作りたいです。」

② 学習計画表、身に付いた力を確認するシート

西唐津小の実践から

学習のゴールまでを見通しながら学習  
することが出来ます。

付けた力を意識しながら、学習のポイント  
をまとめていくことが出来ます。

西唐津中の実践から

学習計画表



学習のゴールを目標に、児童とともに立てた計画をまとめた計画表です。計画表を作成することで、学習している段階を常に確認することができます。計画表があると、「先生、今日の国語、何をするんですか。」という児童生徒からの質問は、なくなります。

右は、学習のまとめを書く欄をセットにした中学校の計画表です。児童生徒の実態や状況に応じて、工夫してみましょう。

学力向上推進教員の実践から

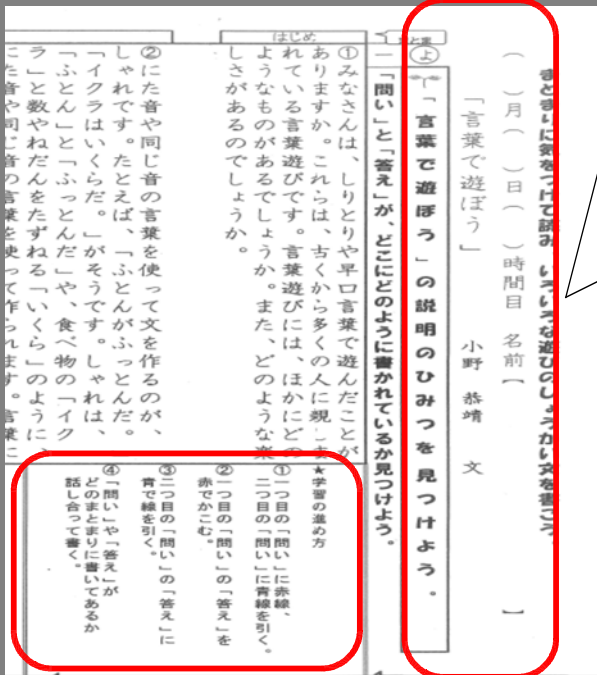
唐津地区中学校国語研究部会



身に付いた力を確認する  
単元が終わったときに、身に付いた力を確かめることは大切な事です。チェック項目を基に自己評価する欄や、学んだことを自分の言葉で整理する欄が設けてあります。計画表の中に入れたり、単元の終わりに評価シートとして別に作成したり出来ます。

③ 1時間のめあてを達成するために、「書き込む」などの作業を行うシート

呼子小の実践から



単元を通じた「学習課題」「学習の日時、時間」「学習のめあて」を記載。

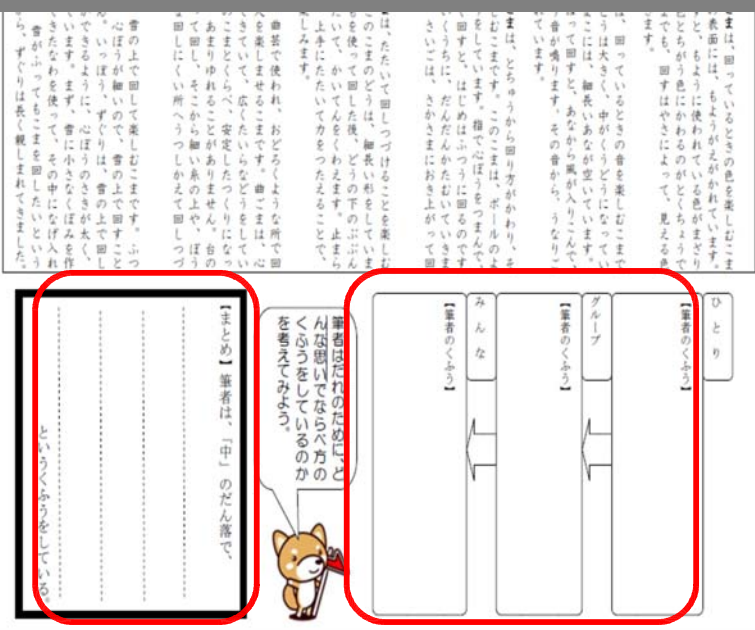
**Good!**

ワークシートには、「学習課題(単元名)」「学習する日」「単元の中の何時間目か」「本時の学習のめあて」を表記します。基本的なことですが、とても大切なことです。「単元の何時間目を学習しているか」や「めあて」を書かせることで、学習のゴールまでの位置や本時のねらいを確認させることができます。

また、学習の進め方が具体的に書かれていますので、先生の説明を聞き逃した児童生徒や何度も確かめながら作業をすすめたりする児童生徒にとっては、助けになります。

学習の進め方(作業の方法)を提示。

大志小の実践から



**Good!**

児童生徒が1時間の授業の中でどのように学びを深めていったか、児童生徒自身が実感できるようにすることが大切です。ここでは、思考過程が分かるように3段階の枠が設けてあります。他にも、同じ欄に付加修正部分を色を変えて書き加えさせるなどの工夫も考えられます。

また、何を学んだのか、めあてに対応させて、自分の言葉でまとめさせることが大切です。まとめと振り返りを混同しないようにしましょう。

めあてに対応したまとめを書く部分。書き出しと文末を指定。

「ひとり」「グループ」「みんな」で考えたことが段階を追って記述できるようになっている。

学力向上推進教員の実践から

今日の学習内容や学習方法を具体的に説明している。

今日の学習内容や学習方法

4つの例を「種類」分けました。

今日の学習内容や学習方法

☆「1時間の時間と心の時間」の第一段落は必要 ↓ 文章の構成にも筆者の説明の工夫が表れている。

☆ 筆者の考えは、

☆ 説明文の構成は、

筆者が自分の考えを説明するために取り上げている例を切り取って、どのような例が書かれているのかを考えたり、段落ごとの構造を調べたりしました。

今日は、今まで学習したことを生かして、同じ種類の例が書かれている段落を分類して仲間分けをしましょう。そして、この事例を取り上げた筆者の目的を考えてみましょう。目的があるということは、事例の選び方にも筆者の説明の工夫が表れているということですね。

「例」を「種類」分けました。

読者に体験させて実感させるための工夫が表れている。

学習のあらためて 例を分類

筆者が例を挙げている目的を考えよう

名前) 月 日 (この学習を始めて) (時間目

今までに学習したことを書く欄を設けている。

**Good!**

めあて達成の過程では、これまでの学習で得た知識や学習方法などを活用する場合があります。これまでの学習との違いが新しい学びとなって蓄積されるので、本時の学習に関わる既習事項を自力解決の時間の前に、確認しておくことが、とても重要です。

また、本時の学習の趣旨、手順などを分かりやすく説明することも、ゴールへ向かう主体性をもたせたり、学習の必然性を感じさせたりするのに効果的です。

大志小の実践から

グループ活動で話し合う視点、学級全体で学習することを具体的に示している。

本時の学習のポイントに気付かせる工夫も示している。

これまでの問題の、似たような求め方のパターンを示し、解決の見通しを持たせている。

めあて 1/2の大きさに目を付け、図や式を使って分かりやすく整理しよう!

学習の流れ

- ①2つの問題を解くことで、前の学習との違いを意識しながら法則性をわかりやすくまとめる。
- ②グループで法則性について交流し、今回使えそうな法則性をまとめる。
- ③グループでまとめた考えを「みんなでタイム」で交流・整理し、法則性を整理する。

02つの問題を分析し、図や式を使って解き、法則性を書こう。

① かんらん亭に乗ります。おとな1人分の料金は、子どもの半額です。おとな1人分と子ども1人分の料金をあわせると、1500円になるそうです。おとな1人分と子ども1人分の料金は、それぞれ何円ですか。

② ジェットコースターに、子どもとおとなが合わせて32人乗りました。そのうち、子どもの数は、おとなの数の3倍でした。子どもとおとなの数は、それぞれ何人でしたか。

0これまで学習したことから

0さしひいて考えるときは、

- ①同じところをさしひいて、
- ②違うところだけに着目して、一つ分を求め
- ③全体からもう一方の残っていることを求める。

ここに着目、ここに差も着目を学習しました。

昨日とは、学習内容が違うことに気づきますか？  
今回は、大人1人分が子ども2人分ですよ。

**Good!**

算数でも、課題解決に向けて、答えの見通し、解決方法の見通しをしっかりと持たせるために、本時の学習に関わる既習事項を確認しておくことが、とても重要です。問題を解く上でのポイントも提示してあります。

④ 学習に必要な資料をまとめたシート

簗木小の実践から

文章問題から情報を読み取り、言葉の式を考える流れについてまとめたシートです。左には例が示されています。低学年用のシートですが、考える流れについては、どの学年でも使うことができそうです。

おわり	中	はじめ
「答え」 〜のです。〜というわけです。	「考えたこと」 〜と考えました。 〜にちがいありません。	「問い」 〜でしようか。
	「分かったこと」 〜です。〜ます。 〜がわかりました。	「調べたこと」(実験、かんさつ、けんきゅう) 〜をくらべてみました。 〜を調べてみました。 〜しました。

ポイントシート  
説明文「イルカのおわり」(おりの行田)

ことばのしきをつくらう！

数字をつかってしきを書く前に、もんだいの中のことばをつかって、「ことばのしき」をつくれるようになろう！

れい こうえんで 13人あそんでいます。  
6人かえると、のこりは何人になりますか。

<どんなけいさんか>  
のこりをもとめるから、ひきざんをつかいます。

<ことばのしき>  
はじめの人数-かえった人数でもとめます。

<じょうけんを書く>  
はじめの人数は13人です。  
かえった人数は6人です。

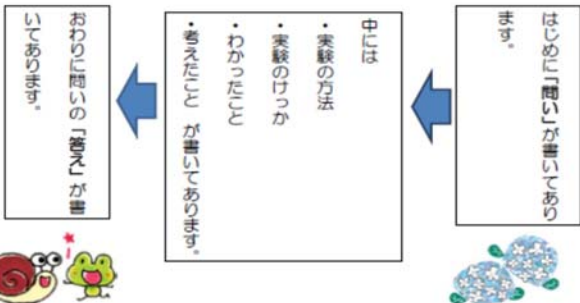
<数字のしき>  
しきは、13-6です。

<こたえ>  
なので、こたえは7人です。

<考えのながれ>

もんだいを読む。  
↓  
どんなけいさんをつかうか考える。  
↓  
ことばのしきを書く。  
↓  
じょうけんを書く。  
↓  
数字でしきを書く。  
↓  
こたえを書く。

もんだいの中のことばをつかって、しきにあらわそう。



説明文において、それぞれのまとまりに「書かれていること」と「文末表現」をまとめたシートです。この既習事項を参考にしながら、新出の説明文の構成について考えることができます。また、自分が説明文を書く際に「構成」及び「文末表現」を参考にすることができます。



授業の中で参考となる知識は、資料集で補う場合があります。しかし、校種、教科によっては、資料集が充実していない場合や実態に即していない場合があります。そのような場合は、学習した内容(しようとする内容)を1枚にまとめたものを別紙で提示することも考えられます。これらをストックしていくと、オリジナルの資料集ができます。

また、場合によっては、ワークシートの中に、一部資料を提示することができます。調べる時間がないときや調べるのが目的ではない学習では、必要な部分だけを取り出しまとめたものを、参考資料として提示すると効果的です。

唐津地区中学校国語研究部会

☆円グラフ・全体の割合を見る

●大阪府のおもな産業の事業者数の内訳  
2008年の統計「日本の統計」(政府発行)

運輸・通信業	2.9%
不動産業	5.3%
建設業	6.2%
製造業	15.3%
サービス業*3	23.9%
その他	1.8%
おもしろ売り*1・小売業	44.6%
*2・飲食店	

\*1:生産者から惣菜を買い、小売り業者などに対する販売をささげ  
 \*2:一般消費者向けに販売をささげ

題目としたところ  
 大阪の「」の「」  
 と「」の「」を合わせると  
となり商業施設が多いことがわかった。  
 このことから、大阪は商人の町であるといえる。

2 大阪は商人の町である。

☆棒グラフ・棒の高さで量の大小を比較する  
 ☆折れ線グラフ・線の高さで量の大小を比較する  
 変化の方向を見る

例  
 これは沖縄県の雨期である。

東京  
 ・平均気温・・・16.2℃  
 ・年降水量・・・1486.2mm

☆表・縦の列、横の行をそろえて数値を見やすくする。

1 親子の携帯電話に対する考え方には差がある。

携帯電話を使うことの良い点  
 (単位は%)

	親	生徒
友達との関係が よくなる	7%	35%
行動範囲が 広がる	6%	24%

【2012.11.2 「国民新聞」(国民新聞  
 生徒指導委員会アンケート結果)】

題目としたところ  
 「友達との関係がよくなる」については  
%の差があり、  
%の差があることがわかった。  
 このことから、親子の携帯電話に対する考え  
 方には差があるといえる。

3 得業日本の需要を支える人がいなくなる  
 のではないか

☆棒グラフ・全体の割合の比較をする

産業別就業人数(15歳以上)の構成比率の変化  
単位:千人

第1次産業: 農業、林業、漁業 第2次産業: 鉱業、製鉄業、製造業  
 第3次産業: その他 第4次産業: サービス業(非営利団体)

題目としたところ  
の就業者の比率が、  
がわかった。このことから、得業日本の需要を支える人が  
 いなくなるのではないかと考えられる。

上のシートは、レディネス調整シートです。児童生徒の知識の習得具合を教師が確認する時に、このようなシートを作成して学習に活かすことは効果的です。レディネスを確認することは、算数や数学では単元に入る前によく行われていますが、このように、国語や他教科でも実施することができます。

**Good!**

今回は、学習シート編①という内容で、紹介しました。今後は、この内容に続く学習シート編②、また、学習教材編(仮名)、学び合い編(仮名)などといった内容で、各学校の先生方の取り組みを紹介していきたいと考えています。

各学校で、授業づくりで工夫されていることについて、ご紹介いただける場合や紹介した内容について詳しく知りたいと思われた場合は、西部教育事務所北部支所(73-1331)までお問い合わせください。

北部支所管内の小中学校の先生方の授業力向上、児童生徒の学力向上を目指して、よりよい実践を共有できる窓口として、北部支所のホームページを充実させていきたいと考えています。

ご協力をよろしくお願いいたします。